

N-ONE OWNER'S CUP ブリーフィング資料

■公式予選・決勝レース共通

1.コース状況

・コース改修について

- ① 東コース路面張替え・再舗装
- ②カーブストーン（縁石）の改修（T2,T8,T9,T14,T17）

2.ピットレーン通過速度について

規制速度は、60km / h以下。

3.セッション開始時の作業エリアおよびファストレーンへの進入について

ファストレーンへの進入は走行開始3分前とする。

4.ピット出口からのホワイトライン

- ①ピットから離れる車両は、ピットレーン出口から第1コーナーにかけてホワイトライン(図1)を含んだ右側を走行すること。
- ②トラック上を走行中の車両を制限するものではない。

5.ピットレーン出口の信号機について

- ①“レッドライト”が点灯しているときは、コースイン不可。
- ②“青色点滅”時はストレート走行車両に注意すること。

6.信号合図

競技中の信号合図は、フラッグおよびライトパネルによって行われる。

7.国際モータースポーツ規則 付則H項

- ①黄旗区間は確実に減速すること(追越し・スピン・オーバーラン厳禁)。
なお、黄旗は手前複数のポストでも提示される場合あり。黄旗区間は黄旗が提示されたポストから、緑旗が提示されたポストまで。
- ②オレンジディスクは、「コントロールタワー前の0ポスト」、「西ストレート管理室前(14.5ポスト)」の2ヶ所で提示。
(速やかにピットへ戻って車両確認すること)
- ③青旗は、予選中には追い越されようとしている車両に対して提示。また、決勝中は周回遅れにされようとしている場合に提示。

8.コース上での停車

- ①可能な限りコースから離れた安全な場所に停車させること。
- ②車両から離れる場合、コースは横断せずオフィシャルの指示に従うこと。
- ③再スタートする際は、後続車および周りの状況をよく確認してから走路へ復帰すること。

9.クラッシュ・事故にあった場合

- ①ドライバーは、すぐに車両から出て安全な場所へ移動すること(次項②の場合を除く)。
- ②援助が必要な場合には、無理に動かそうとせず、救出チームの到着を待つこと。

10.ショートカット / 走路外走行(トラックリミット)

- ①コース上のショートカット部分(東ショートコース路等)は通過不可。
- ②白線上は走路の一部とみなすが、縁石は走路外となる。
- ③四輪とも白線を越えた場合は、走路外走行と判定され審議の対象とする(アドバンテージの有無、危険性の有無を検証)。

11.競技車両のサーキット外持ち出しについて

公式車検を受けてからレース終了後の公道車検を受けるまで、競技車両の場外持ち出しは禁止とする。

■公式予選

12. スロー走行

極端なスロー走行は行わず、タイムアタックしている後方車両に注意を払うこと。

13.黄旗区間の運用

黄旗区間を通過した車両は、当該ポスト、レースコントロールで厳正に管理する。なお、当該ラップタイムは採用しない場合がある。

14.赤旗

公式予選で赤旗となった場合、赤旗提示の原因と特定されたドライバーは、罰則の対象となる場合がある。

図1 ホワイトライン



■決勝レース

15.周回数

- ①決勝周回数は6周
- ②完走周回数は優勝者周回数の70%以上(4周)

16.レーススタート

- ①フォーメーションラップは隊列を乱さず走行すること。
- ②フォーメーションラップ終了時にスターティンググリッドに着いた時、何らかの問題がある場合は以下の処置が取られる。
 - a) グリッド上以外に問題がなく直ぐにフォーメーションラップが再開出来ると競技長が判断した場合、中断ライト(イエローまたはオレンジライトの点滅)の2秒後に緑色のライトが点灯し、「EXTRA FORMATION LAP」ボードが提示される。全車両はエンジンを切ることなく再度フォーメーションラップを開始する。
 - b) その他の問題が発生し、スタートを遅らせる必要があると競技長が判断した場合は、中断ライト(イエローまたはオレンジライトを点滅させ、「STARTDELAYED”(スタート遅延)ボードが表示され、全車両のエンジンは切れ、スタート手前は3分前の時点から再開される。
 - c) 上記 a, b いずれの場合においてもレース距離は当初の距離より1ラップ減算となる。
- ③スタートライトは、5灯式ライトを使用する。
- ④レッドライトが5灯点灯後、2秒以上3秒以内にレッドライトが消灯し、レーススタートとなる。

17.レーススタートできない車両

- ①レッドライト消灯後にストールした車両があった場合は、グリッドマーシャルが黄旗で合図する。
後方の車両は、十分注意してスタートすること。
- ②スタートできないドライバーは、手を上げて合図すること。
全車スタート後、オフィシャルが援助する。

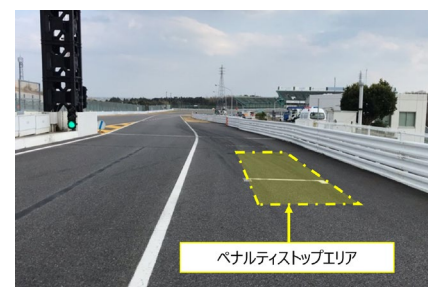


図2 ペナルティストップエリア

18.セーフティカー

- ①必要があればレース中の先頭車両の走行地点に関わらず直ちにコースに入る。
- ②競技車はセーフティカー後方に“一列”に整列し走行すること。
- ③SCオレンジライト消灯場所の目安はT13～T14 スプーンカーブ立ち上がり。
- ④**競技再開の時、非競技化解除地点～スタートラインを通過するまでは追越しは禁止される。**
(国際モータースポーツ競技規則付則H項「セーフティカー」に基づき運用)



図3 ペナルティストップ/
ドライブスルーペナルティ

19.レース中に課せられる罰則(反則スタート及びその他罰則)

- ①ペナルティストップエリアはピットレーン出口右側(図2)
- ②ペナルティストップは、P+Car No.、
ドライブスルーペナルティは、D+Car No.で指示 (図3)
ボードは「コントロールタワー前の0ポスト」、「西ストレート管理室前(14.5ポスト)」の2ヶ所で提示
- ③タイムペナルティは、T+Car No.で指示 (図4)
- ④当該レース中に上記罰則が実施できない場合は競技結果にタイムを加算



図4 タイムペナルティ

20.チェッカー後

オフィシャルが誘導するパークフェルメに進むこと。(公式通知No.4参照)
車両保管解除まで競技車両にはオフィシャル以外、一切手を触れてはならない。

21.公道車検

決勝レースの車両保管解除後に公道車検を開始する。
オフィシャルの指示に従い、すみやかに公道車検を受けること。
(他クラスの進行状況により、一時中断する場合がある。)

以上